

誰ひとり、とり残さない県政を

コロナ危機から 命と暮らし、営業を守る

- ・「いつでも・誰でも・何度でも」PCR検査の抜本的拡充を
- ・保健所の機能と体制の拡充
- ・医療機関への財政支援含む直接支援
- ・小規模事業者等への直接的支援
- ・少人数学級(20人程度)の実施
- ・消費税減税を国に働きかける

今の県政、ここが問題

- ◆ 子ども医療費無料化年齢の拡大に「優先度が違う」と背を向ける
1400万円あれば、障害のある子どもの医療費を18歳まで無料にできるのにやらない「冷たい県政」
- ◆ 学力偏重 競争と管理を強める教育
小学校3年次から毎年県独自の学力テストを実施し、コロナ禍の今年も実施するなど、順位競争に拍車をかける
- ◆ 本当に困っている
中小事業者への支援は後回し
新型コロナの影響を受けた事業者への県独自の支援金も従業員21人以上の事業者に限られる

すぐにやります! 4つの暮らし応援プラン

子育て

- ◇ 県の制度として、医療費は中学校卒業まで無料に
- ◇ 認可保育所の新設・増設補助で待機児ゼロ。保育士の給与への補助など処遇の改善
- ◇ 「子どもの貧困」対策の拡充(子ども食堂、学習支援の活動へ財政支援など)

障害高齢者

- ◇ 老人医療費、介護費の負担軽減、特養、グループホームなどの増設
- ◇ 障害者医療費(精神含め)は原則無料
- ◇ 福祉事業所の経営改善支援



財源は、約7400億円の年間予算の一部を組みかえれば十分できます

ジェンダー平等の県政を

- ◆ 女性が活躍できる職場づくり、◆ 職場等でのセクハラ、パワハラの根絶、◆ 「パートナーシップ条例」を制定するなど、性の多様性を認めます。

若者

- ◇ 返さなくていい県独自の奨学金をつくる。奨学金返済の支援制度をつくる
- ◇ 正規雇用の拡大、最低賃金・時給1500円以上に。賃上げのための中小企業支援



地域経済

- ◇ 住宅・商店リフォーム助成制度をつくる
- ◇ 住民主体の自然エネルギー導入への支援。地球温暖化防止にリーダーシップを発揮する
- ◇ 小規模事業者等の後継者確保、事業継続への支援強化
- ◇ 公立夜間中学をつくる

豪雨災害の被災者支援に全力

2千人もの方々が仮設住宅での暮らし。医療費、介護費の自己負担減免制度の創設。災害に強いまちづくり、被災者支援制度を抜本的に拡充します。

避難所は国際基準に

新型コロナ対策、避難者の尊厳ある生活のため、スフィア基準(国際基準)の導入をすすめます。

1962年、奈良県五條市生まれ。1985年岡山理科大学卒業。1987年岡山大学大学院修士課程修了。1993年岡山大学大学院博士課程単位取得。学生時代から障害者の生活と権利を守る運動、環境を守る運動に取り組む。2003年岡山県議会議員当選(4期)。家族は妻、長男。

県知事選挙は、コロナ禍のもと、感染拡大防止、医療・福祉に手厚い県政をつくる生存権のかかった選挙です。「県民に冷たい」県政から「福祉の心」をもった県政への転換をはかる選挙です。今の政治の流れを力を合わせてかえましょう。「市民と野党の共闘」が発展し、「政治は変えられる」確信が広がっています。ご一緒に、県民の願いに寄り添う県政をつくっていきましょう。

森脇ひさきブログ



Facebook



LINE

森脇ひさき

無所属
日本共産党・
新社会党推せん